

●神戸は今、ファッション・シティ、コンベンション・シティをめざしている

# 神戸ポートアイランドは 21世紀の世界への窓口

△座談会出席者▽

柏井 健一

〈柏井紙業株式会社社長  
神戸商工会議所情報文化部会長〉

鬼塚喜八郎

〈株式会社アシックス社長  
神戸市づくり特別委員会委員長〉

木口 中内 北川

衛 力 勲

〈株式会社ワールド会長  
協同組合神戸ファッションシティ理事長〉  
〈株式会社神戸ポートピアホテル社長  
神戸商工会議所情報文化部副会長〉  
〈同和通商株式会社社長  
神戸商工会議所貿易部会長〉

—神戸市がファッション都市づくりを目指して今年で一〇年になります。ファッション都市の「核」、ポートアイランドのファッション街区も昭和五九年三月、第一次が稼動を始めます。一方、国際展示場、国際会議場、ホテルの「三点セット」が、すでにコンベンション・センターとして動いております。今回はこういう神戸のビッグプロジェクトについて、昨秋のアメリカのコンベンション・シティ視察の感想などを混じえてお話し下さい

日本で最初のコンベンション・センターが神戸に

柏井 アメリカへ行って感じたのは、コンベンションの概念が非常に幅広い。われわれが考えているコンベンションやメッセとアメリカのそれとは幅が非常に違う。あらゆる市民的行事、スポーツとか音楽祭とか商品の展示、講演会から、また、スポーツと言ってもショービジネス的なもの、ロデオとか拳闘まで、とにかくライブで実物を見るものをすべてコンベンションだとアメリカは考えているわけですね。神戸でやるコンベンションはど

ういう形になるべきかということになって来るのですが、ヨーロッパ的なコンベンションというのは、商社機能の代行という役割が多くあって、日本ではちよつと難しい。神戸では、むしろ、国内中心のコンベンションの運営を考えて行かないといけない。そうするとアメリカ的な運営に近いものになるのではないかと思います。

一つの問題は、コンベンション・ビュローのあり方です。受け入れ体制をどうするか神戸にとっては大問題ですね。一番びっくりしたのは、日本へ帰ったらすぐにアメリカからだどしどし日本語でお札状が届いた。

アメリカ人が書いた日本語の札状が届くわけです。アメリカで会っていても非常に親切で、ホスピタリティ精神がきわめて旺盛で、こういうところは今の日本のシステムでは組めない。将来の大きな問題点の一つです。

木口 確かに施設だけ出来てもいけないんで、問題は運営のやり方でしょうね。心が通い合うということがコンベンションでは一番大切なことですよ。

柏井 ワールドはポートアイランドに体育館をつくらう

ということでおやりになっていますが、それをアリーナ

Ⅱ多目的ホールとしても使えるようなものにしていただきたいですね。もとの発想は体育施設だったと思いますが、体育施設はアリーナで最もウエイトの高い部分です。アメリカのコンベンションはすべてアリーナで行われています。そのためには収容人員も一万人から一万五千人ぐらいの規模のものに何とかして欲しい。現在、日本にあるアリーナは、武道館ぐらいだと思いますが、その何倍か多目的に使える機能を考えて欲しい。ワールドの二〇億に神戸市がプラス三〇億をつぎ足してでもりっぱなものを造って欲しいと思いますね。神戸は八五年にユニバーシアード大会が行われますが、競技のかなりの部分をそこで行うことになると思う。サッカーもラグビーもできるし、二百米ぐらいのランニングもできるし、テニスなら八面から十面、バレーボールなら一面とかいうスケールのものが大体できるのではないかと思う。それと、あとシアターです。三千人程度が入れるものが必要で、会議場、展示場、ホテル、アリーナ、シアター、この「五点セット」がどうしても必要ですね。

中内 コンベンションが行われると、そこには当然レジャーが必要となりますから、シアターでミュージカルなどいろんな催しが行われるわけです。

柏井 レディースプログラム、ナイトプログラム、それと夫妻で楽しむエクスカッション。これが出来なければコンベンションとならない。神戸だと奈良、京都、鳴門の観潮、姫路城などを幅広くセットとして考えられます。

柏井 健一さん

鬼塚喜八郎さん

木口

衛さん

中内

力さん

北川

勲さん

中内 私はアメリカへ行って二つほど感じましたね。

一つはコンベンション・シティは、周辺の環境が非常に大事ということですね。アナハイムのコンベンション・センターはロスアンジェルス郊外のデズニールランドの前の綺麗な田園地帯のなかにある。サンアントニオのコンベンション・センターの周りには川が流れ、その周辺は公園になっている。川にはボートが運航していてボートで会場へ行ける。コンベンション・センターとかコンベンション・シティという場合、環境がいいかどうか非常に大きな問題になると思います。その点、神戸のコンベンション・センターはシーサイドにあつてレジャーランドあり南公園ありで大阪湾を一望できるという素晴らしい環境にある。コンベンションでは会議もやるわけですが、滞在を楽しむという要素もありますからね。

もう一つは行政の取り組み方。アメリカではコンベンションを一つの大きな産業としてとらえていますね。アトラクタでは「グレートアトラクタ」における最大の産業だとはっきり定義している。コンベンション関連産業は売り上げ高、従業員の数などからいって断然他を圧倒している。行政の取り組み方も本当に真剣です。向こうではベッドタックスとかレストランタックスとか日本と言う飲食税の一部をコンベンション・センターの建設とか運営の補助金として還元しているのにも驚きました。だからりっぱな施設が現在でも増設されている。地域における最大の産業というところえ方をしており、行政とコンベンション・センターとが一体となり資金的にも裏つ





けをもっていることですね。シカゴでは競馬から上って来る税収をマコーミック・センターの運営資金に充当しているとも聞きましたね。コンベンションをやれば、それだけ大きな税収があるということは事実です。今後、神戸市がコンベンション・シティとしてどんどん客を集めればいわゆるベッドタウン、レストランタックスがどんどん上って来るといことですね。それを一部でも投資することによってコンベンション施設を拡大強化して行く方向を当然考えてもらいたいと思います。

鬼塚 都市の活性化は、情報と人が集まらないと出来ない。昨年のポートピア<sup>81</sup>には一、六〇〇万人が集ったのですが、この人たちが活力となって成功をおさめた。だから人の集まる企画、イベントをやるのが大切になります。では、それはどういうことかというと、経済を中心に考えてみると、やはり見本市です。見本市で人が集って大成功をしているのは、特にヨーロッパではドイツが各都市とも第三セクターで見本市協会というものをつくって、発展している。中規模都市がメッセそのものを中心にしているいろいろの見本市をやる。もちろん見本市だけではなくて、必ず会議をやる、食事をするということ、これはもうコンベンションとかメッセとか分けられるものではなく、全く一つのものです。フランスもイタリアもそうですね。アメリカでも見本市をやったときには会議をやるんです。そしてパーティもやる。そこで人の交流がある。こういう人の交流がないと都市の新しい活力というものはどうしても生まれません。それにはどうしても魅力のある集まりやすい環境というものをつくってしまわないといけない。そこで神戸がファッショ街区をつくろうとし、国際展示場、国際会議場、ホテル、さらに新しくアリーナをつくって、これらを一体として見本市も出来るし、あらゆる会議、音楽祭、芸術祭、いろんなことがとにかく出来る一つの施設がすでに出来、それを今後充実するためにもっともって施設を拡大する。それが大切なことではなからうかと思う。今の施設はま

ず緒に着いたということで、日本の、しかも神戸という独特の土壌に合うような施設をつくって行かないといけないと思います。それを行政に任せっぱなしでいいのかというところじゃない。民間主導型の機関を充実して行くべきではなからうかと思うわけです。

#### 市民と交流のあるコンベンション

北川 私は神戸の貿易業者の一人ですが、大体、商社機能というのはメーカーが造ったものを媒介して世界各国へ売る、また世界各国へ売る産品、原材料を日本へ輸入して国内市場へ取り次ぐということですが、ただ、販売の貿易テクニクとしまして、輸出の場合でもつくったものを見せて売る、また、輸入に当たりましては海外産品を買いつけて、そして、見せて国内市場に売るというように輸出入ともに「見せて」というところでクロスするわけですね。その見せるということ貿易商社の業務の中では、サンプルを発送したり型録を海外へ送ったり、各社個別にやっているのですが、コンベンション機能のハードとしてポートアイランドに会議場、展示場、ホテルの「三点セット」が出来たということで、個々の商社がバラバラにやっておりました「見せる」という働きをもっと集約的にインパクトを与えて、しかも時代を先見して新しい商品の海外新市場を開拓するということを果さそうということで、アメリカのコンベンション・シティを見て来ましたが、ロスアンジェルス、アトラント、シカゴ、ニューヨークのそれぞれが日本よりも十年は進んでいるという印象を受けて帰って来ましたのはみなさんと同じです。ただ、私が思いますに、アメリカのコンベンションは土地がゼロに近いコストになっている。だからすべてハードは平面上に、水平に展開されています。それとともに飛行場が隣接している。この二点がアメリカのコンベンションを拡大にさせて、かつ、一か所にたくさんの方が集まるといことにつながっている。日本では特に阪神間は土地が高いわけですから、限られた土

地の上にコンベンションのハードをつくって、アメリカと同じように人を呼び込もうとするなら、どうしても立体的なものを考えて行く必要があると思う。たとえば、コペンハーゲンのペラセンタールは、非常に立体空間をうまく使っている。神戸でも国際展示場が一つでは足りないのだからこれからつくって行くのですが、一たん天辺までリフトで上げておいて、そこからずうっと降りて来るようなシステムにしてはどうかと思うんです。神戸のコンベンション、特にメッセの場合は平面的にあつちこつちとぞろぞろ歩かないといけないと言ふのではなくてメガトロニクス技術を駆使して、カードを入れたら必要な情報ブラウザー管に映し出されるとか、日本の先端技術を取り入れたメッセを組み立てて行く必要があるし、神戸はその力を十分に持っていると思います。

柏井 現在の段階ですでにコンベンション・センターが神戸には出来ている。国際会議場と国際展示場とホテルなどですが、これらが一か所にきちっとあるのは日本では神戸だけです。だから、これをどう拡大して行くか、どう運用して行くかをうまくやって行けば、日本のコンベンション・シティのさがけた形が神戸でとれるのではないかと思う。施設などの規模では東京の方がりっぱかも分らないが、東京、京都ともそれがセンターとしての形をなしていない。その意味で神戸は一歩先行していると思います。

鬼塚 ただ国際展示場は狭すぎますね。出来たらあともう二つか三つぐらい、本当は五つぐらいないと国際展示場とは言えない。ポートアイランドは環境がいいし、いろんな機能があるから展示会をやろうというムードが高まって来たら自然に第二号館、第三号館をつくって行ける。今のコンテナ基地を六甲アイランドにもって行って、その土地を幾らでも活用できますね。それぐらいの発想でコンベンション・シティをつくって行かないとちがう。つげな考え方では魅力あるものにはならないですね。中内 欧米では、たとえば五日間の展示なら最初の四日

間は業者以外は一切入れない。ところがそればかりやっていると市民とコンベンションが遊離してしまう恐れがある。それに對しては最後の一日か二日は市民に開放する。業者だけのときは有料ですが、このときは無料なんです。これによって新しい情報をコンベンション・センターが、業者に對してと同様、市民に對しても提供することが大事なことだと思ふ。神戸の場合もそうするべきだと思ふですね。アリーナとシアターの意義は、主催者、参加者のために必要であると同時に、それによってコンベンションの参加者と市民とが交流する場になるということですね。たとえば、コンベンションのときアリーナでボクシングとかサーカスとかをやるとすると、市民も参加できる。だから今後、神戸市をコンベンション都市として成長させて行くためには市民とコンベンションが一体となることを考えておかないといけないと思ふ。

北川 昭和三十七年から日本エレクトロニクスショーというのが始まり、東京、大阪と交替で毎年秋にやっているのですが、大体五日間ありまして、最初の二日間は業者しか入れない。たいがい水曜日から始まるので、水・木と業者、そして、土・日と一般に開放するのですが、中・高校生がものすごく来る。もう身動きも出来ないぐらいですね。さらにオープンの前晩に業者が集って前夜祭をやるのですが、これが一番最後の日には、サーカスをやっている、音楽会をやっているとすると市民は集って来ますね。

#### ファッショ街区も日本で初めての試み

木口 神戸市は十年前にファッショ都市づくりを標榜して、行政も業界も一緒になってやって来たわけですがポストポルトピアにファッショ街区をつくるについては神戸市民から大きな期待をよせられて、実際に実行に移す段階に來たわけですね。ファッショ街区の周りにはアリーナやシアターが出来るとコンベンション・センターとしての形が整うわけですから、私たちとしてもとに



かく早くやりたい。いつまでも放っておくことは出来ない。私どもは二九階建ての本社ビルを昭和五九年中には完成させることになっています。私たちと一緒に第一次として八社が進出する。そうなると思はれると思う。もちろん八社だけでは形を成さんわけで、第二次、第三次と引き続き一年遅れ、二年遅れで順次出来て行くわけですよ。将来、神戸のファッション街区に日本はもちろん外国からも、コンベンション・センターの周辺にこういうりっぱなものが出来ているということでは来るようにいいものをつくりたいと思っています。欲を言えば世界の一流ブランドをあそこにか誘致できないかというのを提言しているわけです。地元だけではなくて日本のファッションの中心にならないと、せっかくあれだけのものをつくるのですから、もったいないと思う。今、全国に卸売り団地というのはたくさんあるのですがファッション街区と称するものは日本には神戸だけです。神戸がコンベンション・シティとして形を成して来つつあるのだから、これに負けないようなファッション街区をつくらないといけないと思いますね。

中内 コンベンション・シティに世界から著名な人たちが集まる。その集った人が持つて来る文化というものを神戸の町がいかに吸収して、新しいオリジナルなものを生み出して行くか、それが神戸ファッションでしょうね。ファッションは何も衣料だけでなく、一つの新しい生活のパターンという事ですからね。

木口 神戸の場合、ファッションということを広く定義してやって来ているですね。ファッション街区のビルにしてもそれぞれ個性を持ったものが出来てくると思いますよ。一つひとつのビルを見ると個性があっても全体として見るとバランスがとれたようになると一番いいですね。中内 ビルを見るだけでも面白いとか、感覚的に新しさを訴えるような町になって欲しいですね。

鬼塚 ファッション街区を具体的にどういうようにしたならば、日本のモデルになるような、素晴らしい人の集ま

るような町づくりが出来たのかというのが問題ですね。当初、市の担当者のプランの中にはいわゆるファッション卸機能タウンだということが非常に強く打ち出されていた。その後、そういう考え方ではいいファッショントウンは出来ないという意見がどんどん出て来ました。人が集まってきたら楽しい町づくりは出来ない。そのためには散歩をして疲れたらコーヒーでも飲もうか、食事でもしようかと、そういう気楽に行けるものでないといけない。だから一階にブティックの小売店を出したりその隣に喫茶店を出したりすることが何故悪いのかという意見がどんどん出て来た。ようやく市の方もバリのファッションストリートのようなものにしないとけないと考えを変えて来たようですね。面白いタウンづくりが出て来ると思いますよ。人が集まり楽しく生活して、そこで憩えるような町にして行かないといけないですね。

木口 いろいろなのが完備したら、神戸はちよつと日本に例を見ないような素晴らしい町になりますよ。

中内 神戸というのは非常にイメージがいいですね。ホテルがオープンしてから幾つかの会議があったんですが、一回やると非常に好評なんです。来年もやろうとか来年は出来なくても二年後にはぜひ、とか、そういう希望が相当多い。主催者、参加者から神戸は素晴らしいと評価されて来ている。

北川 たまたま先日、カンヌからバイヤーが来たのですが、神戸のフィリングに感心して帰った。だから、われわれが思っている以上に、「三点セット」は誇るに足るものだという事です。

中内 これからはコンベンション・センターが国際文化との接点に必ずなる。神戸がコンベンション・シティになるということは、まさに国際都市としての神戸が復権を宣言するものであると思います。

北川 二一世紀の世界の玄関口は神戸のポートアイランドだということです。

### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区旗塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

### 株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

### モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594



THE ARIMA SPA  
IN MAR.

# 湯の街

有馬歳時記

□座談会

コンベンション・シティとしての  
有馬の可能性を探る

柏原 英通 八神市経済局長

風早 喜一 八兵衛閣閣員

梶木 雅夫 八中の坊主

奥田 真弘 八月光園

金井 清展 八御所坊

有馬温泉は古来より日本三大霊泉の一つとして広く知られていますが、最近、有馬をコンベンション・シティにしたいという気運が盛り上っていますね。そこでどういう構想で動いているのか、といったことをお伺いしたいと思います。

柏原 英通さん 柏原 有馬には四十八



軒の旅館・ホテルがありベット数では七三三八になる。これは神戸市全体の三分の一のウエイトですね。これは有馬の一つの実力です。

千二百年代には有馬で歌会が盛んに行われた。歌人が寄り集って歌をつくり宴会をするというのは、言ってみればコン

ベンションですね。秀吉の時代には、ねねをはじめ実力者を集めて茶会をやりますね。これもコンベンションです。有馬は昔から京阪神の今で言うコンベンション・エリアとしての役割を果たして来たわけです。

ある時期から有馬では、会議のできる大広間を増設する旅館・ホテルが増えて来たのですが、最近では共通の施設をつくるという気運が盛り上っていますね。風早 有馬にコンベンション・ホールをつくらせて欲しいという要望は、ポルトアイランドに国際会議場ができる前からありました。従来は広間に座ぶとんを並べて会議をするということが多かったのですが、有馬の会議場は殆んど毎日利用されている。だからいい会議場が出来れば利用客はあると思います。今、建設が予定されている北神急行が新神戸駅に接続するとフル回転すると思う。全国的に見ると京都・神戸間で会議をするのが一番安くつくので、ピー・アールの仕方によってはコンベンションの客を有馬に引きつけることは十分に出来ますね。



風早 喜一さん

金井 ただその規模から言って有馬で神

戸市内と同じコンベンションをやるのは無理ですから、有馬という観光地の魅力を十分に発揮できる有馬にふさわしい、いわば「専門メニュー」的なコンベンションを消化したいですね。

梶木 一四年前にニューヨークへ行ったときに近郊のアトランティックシティの



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

湯の香漂う  
緑の中の優雅な佇まい

木造りの宿



御所坊

TEL (078) 904-0551

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

旅は出会い  
ほのぼのの心を添えて

政府登録(登録第78号)

●月光園

神戸市北区有馬町318  
TEL (078) 904-0366



コンベンションを見たのですが、このとき大都市近郊でのコンベンションの必要を感じ、帰ってから早速六百人が腰かけられる宴会場をつくりました。八百人から千人が入れるコンベンション・ホールが有馬にぜひ欲しいですね。有馬には遊びという要素、リゾートの要素もあり都市近郊にあるということと共に強みになっていますね。



梶木 雅夫さん

奥田 ただホールをつくると言っても、単なる会議だけではなく

て、多目的に有馬に使えるものをつくらなくといけない。建物のなかに例えば有馬についての資料室を入れるとか、何か楽しめるものを入れたいといけないですね。しかしコンベンション・ホールが絶対に必要だというのは有馬のわれわれの考えです。



奥田 真弘さん

柏原 有馬の方々は大変に研究熱心で、有馬の振興ということで団

結されていますが、何百年もの間に温泉町を大きくして来られたという歴史を背景に、今、コンベンションという横文字のニュアンスを古い町にとり入れて、将来ともに発展させようという積極的な意欲には感心しています。具体的にはコンベンション・ホール・温泉会館をつくろうという案がありますが大きなコンベンションを誘致することによって有馬全体が潤おうのでこれには大賛成です。しかし、つくる以上は永く使わないといけないので、ぜひとも素晴らしいものをつくりたいですね。

いものをつくりたいですね。

梶木 とりあえずは会議が出来て、しかもシアターにも使えるホール、有馬にふさわしいグレードの高いホール、本当は千五百人から二千人数容のホールが欲しいのですが、八百人ぐらいでもグレードの高いものをまずつくりたいです。

柏原 ホールの建設以外では、今ある公園、広場、史蹟の整備など出来ることをどんどんとやる一方、イベントをやることも提案したいですね。



金井 清展さん

金井 お客さまにも若い人が増えて来ますので、若い人がたくさん集って何か出来る場所、例えばスポーツが出来るとか、有馬の周辺を有機的に開発できることを考えたい。有馬を拠点として例えば東条湖、清水寺などと有機的に回られるネットワークが欲しいですね。

奥田 有馬の旅館・ホテルは全国的にみてもハイグレードで、サービスも各社が努力をしています。史蹟や名所など歴史的なことをもっと開発して宣伝したいと思いますね。

風早 歴史的なものを集めることには協力をしますが、それを保存するのは民間では難しい。古い有馬を見せる記念館をコンベンション・ホールのなかにつくりたいですね。

梶木 公園やお寺などに楽しく歩いて行ける道づくりも必要です。

柏原 さらに神戸や大阪の人が日帰りでするような工夫も欲しいですね。

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

**銀水荘**

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な  
日本風の館です

国際観光旅館



TEL (078) 904-0701(代)

敷地内から湧き出る  
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295(代)

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

**中の坊瑞苑**

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181



話題のひろば

<I>

●第六回神戸文学賞授賞式

## 「ガチャマン」の 南禅さんを祝う



6th. 神戸文学賞 神戸女流文学賞 表彰式  
月刊神戸っ子新春パーティ

(上) 左・授賞者の南禅満作さん、右・福引きをする左より足立巻一さん、島京子さん、漫画家の高橋孟さん。  
(下) 左・南禅さんを囲んでこれまでの神戸文学賞・女流文学賞授賞者ほかのみなさん、右・講評をする小島輝正さん

一月二十二日夜、神戸風月堂ホール(元町三丁目)で小誌主催による第六回神戸文学賞・神戸女流文学賞の授賞式が行われた。昨年十一月の最終選考で、神戸文学賞は南禅満作さんの「ガチャマン」に、神戸女流文学賞は該当作なしと決っていた。

授賞式では選考委員を代表して小島輝正さんが「南禅さんは戦後すぐから書き始め、ずい分と熱心にたくさん書いています。受賞作は一連の作品のなかでも一番よくまとまっている。話も面白いし、独特の個性をもつ人物が出て来る」と講評をのべた。そのあと表彰状、副賞二十万円と羽多悦子さん作によるブロンズ像が贈られた。

あいさつで南禅さんは「同人誌を長くやっている」と書くコツや技術が分って来て、偶然にいいものが書けることがあるが、一篇や二篇で終わってしまう。それはどうしてだろうか」と同人誌の長い経験を今後に生かす意気込みを見せた。そのあと神戸地下街副社長の長島隆さんの首頭で乾杯、新年会に移った。食事タイムにはシャンソン歌手の湯井一葉さんの歌も流れ会は盛り上った。新春お年玉・福引大会は各社から商品を提供いただいたが、選考委員の足立巻一、島京子両先生からは著書が贈られ和やかな新年の集いだった。

話題のひろば

<II>

# 世界平和に 市民の交流を

□新春神戸国際交流まつり'82

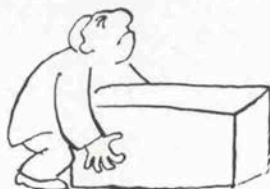


上段：(左)平和の祈りをささげる参加者たち、(右)サンバでフィーバー。中段：(左)モハメット、田嶋克巳、(中)競わりはジェイ・グラック、後藤清一、(右)障害者とも手をつなごう、右端は鬼塚実行委員長、下段：世界の国から民族色豊かなアトラクション。

国際港都神戸には80カ国近い国籍の外国人が住んでいる。しかし市民レベルでの草の根交流はまだまだ不十分、近年高まってきた諸外国との貿易摩擦などを解消するためにも人との付き合いを通して相互理解がぜひ必要、と神戸輸入促進フォーラム(後藤清一会長)の主催で「新春神戸国際交流まつり'82」が1月22日、神戸市勤労会館大ホールで開催された。実行委員長・鬼塚喜八郎(株式会社アシックス社長)さんが「国籍や習慣の違いを越えて今夜は大いに楽しんでほしい」と呼びかけ、後藤清一さんとJ・グラックさんがハッピー姿の鏡わり。

3時間の世界の旅と題したアトラクションでは、デキシールランドの演奏に始まってサンバ、韓国の民族舞踊、中国の太極拳、中南米音楽、室内楽の演奏、モロッコの子守唄、イランのベリーダンスと盛り沢山な内容。日本側からは奄美民謡、御殿舞、神戸太鼓、さらに身障の青年が作詞した「歩きたい心」をシャノン歌手の上平田裕子さんが披露。

田嶋克巳理事長より海外との相互理解を一層深めるよう閉会の挨拶がされた後、八代欽一司祭、モハメッド、佐藤宮司、酒井ハリス、トス正教会司祭らが揃って平和の祈りをささげた。



いいものがあるぞ



これを飲むと  
バカぢからになる



ただし効力は  
一時間で半減する



単なるバカになるのじゃ



—J—



ヤモリの研究の  
成果を見よ!



副作用はないんで?



そんなもの  
あるものか……



# 着尺で表現する 神戸モダニズム

藤本ハルミ〈クチュール「マーガレット」主宰  
K・F・M〈コウベファッションモデリスト〉会長〉



「女性が美しく見える服を」と藤本ハルミさん

——デザイナーとして二十五年の実績をお持ちですが、ライフワークとしてきものの着尺を素材に使われるようになったきっかけは、どんなことからですか。

「私は戦後初めての洋裁ブームの生徒なんです。パリのオートクチュールを目指して勉強していたんですね。ところが十七年前にヨーロッパへ行ってみて、いわゆるカルチャーショックを受けたんです。西洋と東洋の差を感じたし、今迄の物真似では、永遠に日本人は西洋を超えられないと痛感しました。この事を小原豊雲家元に話したら『それじゃ、日本人のデザイナーとして、日本人に着せたい、と思うものをまとめて発表してごらんない』とアドバイスされたんです。そこで商売を離れて自分の思いを『明治百年を記念して——日本の古典を探る』

と題したファッションショウを十六年前に開きました」  
——その成果はいかがでしたか。

「当時は、まだ三十六センチ巾の着尺を自由に使いこなす技術が私に伴っていないだったので、広布で全部別染めにし、大変苦労して作りましたの。けれど一点も売れないだろうと覚悟して、あくまでも自分の考えを発表するためのショウにもかかわらず、パラパラと染めや帯地の服が売れたんです。そこで、私の主張を受けいれてくれる一般の人がいるとわかって心強く思い、またジャーナリスト関係の方々にも評判が良かったので、これをテーマにやっという自信ができました。

戦後、日本人の生活が、着物から洋服に代わったのは事実ですし、その中で伝統文化を残すことをデザイナーとして私のライフワークにしようという決心ができました」



作品「茅渚の海」  
昨年のK・F・Mのショウより



中山手教会の山側、環境の良い北野町の山本通りにある「クチュールマーガレット」の外観

——六年前に催された十年ぶりのファッションショー「流れる季節に」はかなりの反響を呼びましたね。

「一度ショウをするとエネルギーを出さるから、充電するのに十年かかったわ(笑)その間に、別染めして布地から作るというような特殊な工程では、なかなか普及できないので、既製の単物を使ってデザインした服が作れるよう技術を磨き、勉強しました。ショウでは三十点余りの外出用ドレスやロングドレスをドラマティックなテーマに合わせて発表しました。お陰さまで好評を得て神戸の後、京都と東京でも開きました。でも面白いことに私が選ぶ着尺の色は、神戸の呉服屋だと沢山見つかる

のです。神戸っ子の感覚は、外人の眼のようなどころがあるのでしょうか。私の服は、神戸モダニズムに表われる日本の古典といえるのかもしれないね」

——先生が、会長をされているKFMの第3回目のファッションショウが三月三日に開かれますね。KFMはKFCに続く、オートクチュールデザイナーのグループ活動ですが、その特色はいかがでしょう。

「現代はアパレル産業が大きな力を持つ時代で、いわゆる専門店やオーダーの店は、よほどの実力がなければ難しいわけです。そこで一人では微力であっても何人かが集まることによって、デザイナーの個性が発揮できる場としてショウが催されます。一般の人々にとってもアパレルが企画する売らただけのショウよりは、理想を追求したものだけに夢があつて楽しいのではないでしょう。か  
 今年の「This is Kobe」をテーマにしたショウは、東京の人からも「今まで神戸市民のファッションレベルの高さが具体的につかめなかったが、このショウでよくわかりました」とお褒めの言葉を頂きました。私達の活動がファッション都市神戸のイメージ高揚に役立っているとしたらとても嬉しいことです」

——神戸のデザイナーの特徴はどういうところでしょう  
 「東京でもTD6とかアパレルデザイナーが集まって購買層を招くショウがありますが、クチュールデザイナーが集まる例は珍しいと思います。皆が仲良く、でもショウを開くと、全く違った個性が作品に出るんですね。港町・神戸の男性はフェミニストで女性のがびのびでできるんですね。神戸の真珠を扱えるのも特色です」

——先生ご自身の今後の抱負をひと言。

「ファッションが多様化した今日でも、原点はあると思います。日本の気候風土に合い、日本人を美しく見せる形を追求したいですね。結局は毎日の積み重ねが大切なので、一点ずつに情熱をこめて創っていくことでしょう」

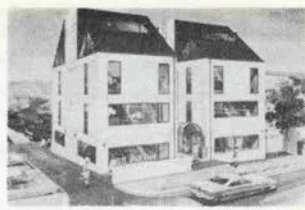
■KFMファッションショウ「女がいる世界」

とき・ところ／3月3日(水)・神戸ポートピアホテルB1催業の間  
 チケット／3PM・¥3,000 6:30PM・15,000



## ★地域の特性をもつクリエイターハウス誕生

「このままの開発は他都市と同じになってしまふ。芦屋らしい地域性をもたせるためにまず手がかりとしてやってみよう」と4月にオープンする「アルコブ」芦屋」を設計した建築家の小林恒志さん。阪神芦屋駅の東北側にできるこのビルは、いわゆる商業ビルではなく、「生活デザイン」を基調として、店舗にオフィスに、住居に空間をクリエイティブな思想で使える人々を対象としているのが特徴だ。小林さんと一緒に計画を実現まで運んだ同じく建築家の青柳鏡子さんは、このビルの2Fで「COLLECTION」をプロデュースし、さまざまな分野の人々の参加による商品化できる生活デザイン展を企画。4月25日からは20人の作家に「時計」をデザインしてもらい、それを集めて「時計展」を開催するというユニークな思考だ。



思想のあるシティコア「アルコブ」芦屋

このビルの地下には飲食店が3店舗、1Fはオリジナルのキッチンウエアや手づくりのケーキ屋さん等、3、4Fは2フロアを使えるメゾネット方式で、仕事場と住居に使える芦屋の街にうまく融合される成果を期待したい。

## ★オーダーサロンからお好みメニューを

異人館ブームから老若男女に「ブーム」を呼んだ北野町に、昨年オープンした木下真珠の本社屋。その一階がガラスに囲まれたオーダーサロンで、明るい店内は白とグレーを基調にしている。良質な真珠だけを厳選して、オリジナルのデザインをモチーフに、大変良心的な価格がつけられている。真珠以外にもイタリアの名門ウ・アレの金製品やダイヤのファッションリングなど、若い女性志向の品々が豊富に揃っている木下店長は「お手持



三鼓さんと木下店長

★22113170

ちの真珠をリフォームされる相談や、ジュエリーの個性、企画等、お気軽にお立ち寄りいただき、と爽やかな応待ぶりだ。

## ★黒田征太郎流毛皮の着こなし方はこうだ

「SPECIAL EVENT 黒田征太郎」11月16日PM2時から神戸店7階大催会場に大毛皮フェア特設ステージが設けられた。



黒田征太郎氏を囲んで

1万点の毛皮が展示された中、黒田征太郎と5名の女子大生のホットな毛皮談話がくり広げられた。毛皮に着られるのではなく、毛皮を着こなし、人に見せるという前にも自分が楽しむのが大事だ。との黒田氏の言葉に会場のお母さん方も納得した表情。毛皮の着こなしについての質問が終った後は、5名の女子大生が自分で選んだ毛皮の品評会。「それぞれ個性に合った毛皮を上手に着こなし、よく似合ってますね」といわれ、自信をもてたようだった。

## ★N・Y発国産派ファッション新聞登場

80年の実績を持つ、米国のファッション専門紙、ウィメンズ・ウェア・デリー（WWD）の姉妹紙、WのW日本版が2月22日、フェアチャイルド・モリ出版より発行された。WWDが世界のファッションビジネスに広く愛読されているのに対し、Wは質の高いファッション情報を望む一般消費者向けに発行されている新聞で既に10年の実績を持つ。W日本版の内容は、世界中から集めたファ



ファミリーで楽しめる

ファッション、料理、旅行案内、インテリア情報、パーティー記事等、家庭の団楽に話題を提供するカラーグラビアの美しい紙面だ。創刊号はバリコレが特集される。発行は隔週月曜日（年間26回）8800円

★申し込み／東京都新宿区市谷富久町59-2 31番03-34116709/W事業部

## ★寛ぎをモットーに新装オープン

三宮神社北側のエリベス美容室が、よりサロンの雰囲気にして、お客さまに寛いでいただくことと、店内を化粧直しし、1月28日新装オープンした。花模様の床は暖かく、白い壁面と新しい照明で明るさが増した。春先にヘアスタイルを変えてイメージチェンジを考えている方は、煙尾宇多子店長があなたにぴったりの適切なアドバイスをしてくれます。



煙尾宇多子店長

17  
★三宮神社北

## ★ファッションパーク

ベストドレッサー大賞募集 あなたの個性がファッションで——モデルクラブや芸能社のスカウトマンも注目。募集要項／住所、年齢、職業、学生は学校名を明記して送って下さい。関西在住の女性であればOKです。

期間／2月20日～3月12日必着  
発表／3月20日第一次、21日第二次、22日最終審査（ファッションパークイベント会場）  
審査員／大森一樹（子定）小泉美喜子、重森守、藤村滋弘、小林万里子  
賞品提供／田崎真珠（30万円相当）、サンヨ

la boutique charmante Serizawa



## ライフ・ステージ、美しく。

風の沈黙、ホリゾンの誘惑…。  
海はいま、憧憬のステージとなった。  
やがて時は、夢の香りをまき散らしながら、  
ゆっくりと廻りはじめる。



serizawa

■本店 神戸市中央区三宮町3丁目1-8 TEL(078)331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

青空に白い街並が映る  
神戸は今、新緑の季節



POUR HOMME

KOBE  
**まさ**

- 神戸 さ ん ぶ ら ざ 店  
さ ん ち か 店  
須 磨 パ テ ィ オ 店
- 大 阪 千 里 阪 急 地 下 街 店  
阪 急 フ ァ イ ブ  
西 武 高 槻 店  
泉 北 パ ン ジ ョ 店
- 宝 塚 阪 急 ファ ミ リ ー ス ト ア 店
- 大 津 西 武 大 津 S C 店



鮮やかに、ヨーロッパの春。  
From Kobe with love  
素敵な出逢い—神戸のエスプリ

## EUROPE IMPORT COLLECTION '82



### やわらかな陽ざしにゆれる、 華麗なるヨーロッパフロア

ひかり  
やわらかな陽光と風が春の香りをつたえるとき

ご入園、ご入学や新しく社会人となられる方々には何かとお出かけの多くなる季節です。

〈リザ・サロン〉神戸本店では

フランス、イタリアより優雅で気品あふれるファッションの数々を直輸入いたしました。

ヨーロッパ商品は高いというイメージを一新し、時をうつさずヨーロッパと同一価格でお届けいたします。

コンサルティングショーを開催いたします。

ご希望の方は、お早めにご応募くださいませ。

(各30～40名様を申し込み受付いたしております)

3月20日(土)

第1回 AM11:00～ 第2回 PM2:00～ 第3回 PM6:00～

※お問合せは〈リザ・サロン〉神戸本店まで



リザはファッションを通して豊かな生活を考えます—

# LIZA SALON

PRODUCED BY LIZA CO.,LTD.

リザ・サロン〈神戸本店〉

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目9-1 センタープラザ3階 TEL:078-391-6806代

SAPPORO・SENDAI・MITO・CHIBA・TOKYO・KAWASAKI・YOKOHAMA・NAGOYA・KYOTO・OSAKA・KOBE  
OKAYAMA・HIROSHIMA・KITAKYUSHU・OITA・KUMAMOTO・MIYAZAKI・KAGOSHIMA・OKINAWA



# O T S U K I P E A R L

真珠と宝石



株式  
会社

## 大月真珠

本 社

神戸市中央区三宮町1丁目2番地の1

(三神ビル7階)

TEL (078) 391-4931~3

東京オフィス

東京都中央区銀座5丁目9番1号

(銀座幸ビル7階)

TEL (03) 571-7443・0761



自然の永い眠りから醒めた時—パールは美しい女性になる。

KANEKO PEARL

—真珠・宝石—

## 金子真珠店

神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824 ☎078(822)1106 〒658

●銀座 ●ホテルパシフィック ●ナビオ阪急 ●御影ガーデンシティ ●福岡 ●長崎 ●佐世保





## ■笑顔に真珠■

榎本 千賀子さん

〈甲南女子大学文学部英文科4回生〉

“うちの電話番号をこの写真と一緒に載せたら、  
パパがあわてて「神戸っ子」を買い占めるかしら”  
とおっしゃるチャームिंगなお嬢さまです。



KINOSHITA  
PEARL  
CO., LTD.

*Order Salon*

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7 (北野坂)

TEL. (078) 221-3170



# 100円チャリティサウナ

4月20日(火)

朝10時～夜1時  
(受付は夜12時まで)

11周年記念

●1,700円のサウナ  
コースが100円に！  
当日に限りサウナ料金は  
100円です。売上げは福祉  
施設へ寄付いたしますの  
で、お友だちお誘い合わ  
せてご協力ください。

- 感謝のプレゼント  
いろいろ！
- サウナ優待券を当日ご  
来店のお客様全員に！
- 毎月1回1年分の無料  
招待券、そのほかフィッ  
トネス・グッズなどは  
抽せんでプレゼント！

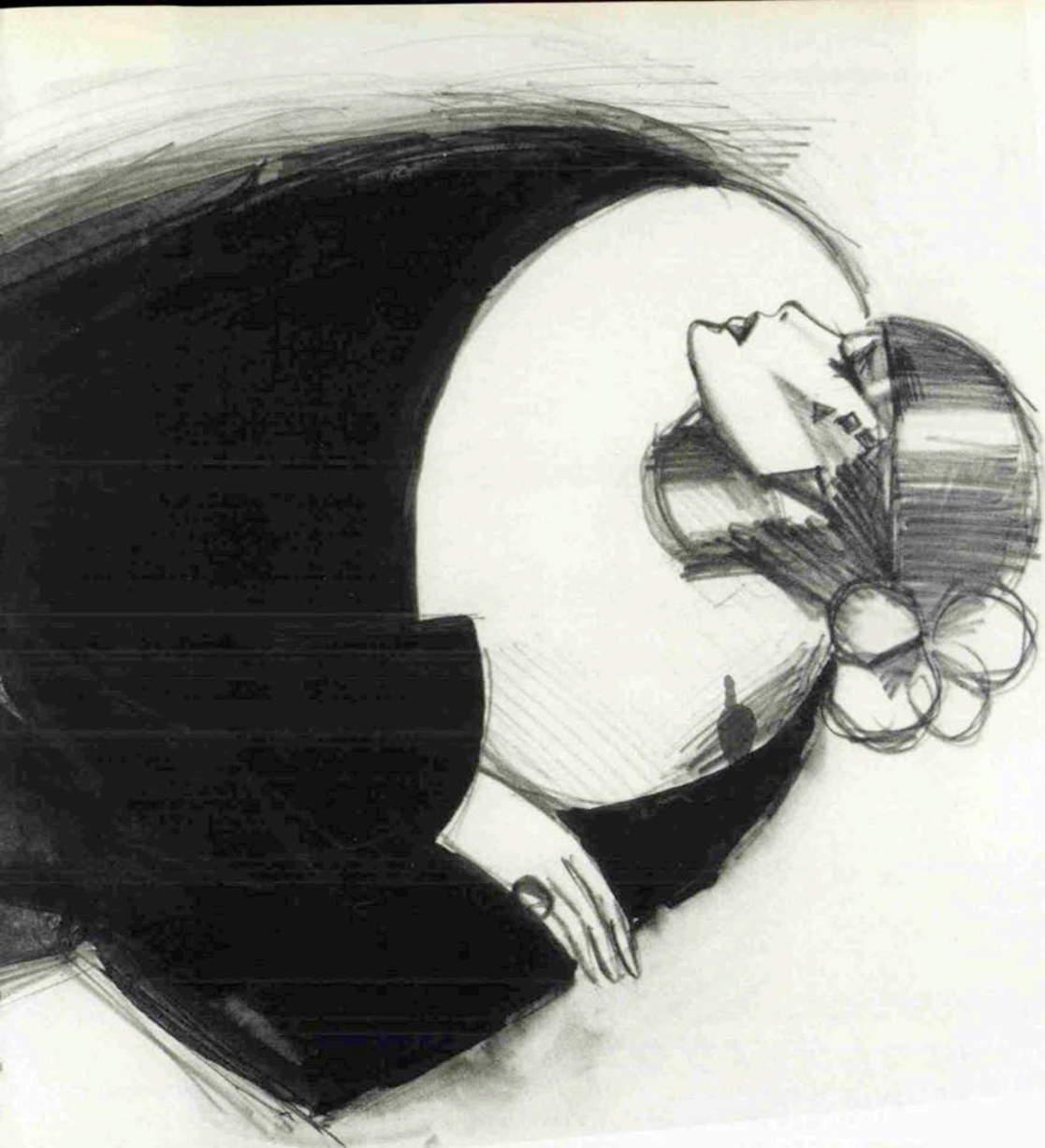
## サウナとエステティック

神戸☆レディスサウナ

神戸三宮・生田新道/ワシントンホテル向かい

TEL.078-321-4742 ■營業時間/朝10時~夜3時

ト ア 生田新道 ワシントンホテル 門生田神社  
ロ レディスサウナ 神戸★ 神戸サウナ 生田 筋  
ド 阪急三宮駅 国鉄三宮駅





# 春ですもの、一度トライしてみない？

篠原 順子

〈絵と文〉

ファンタジック、ロマンティック

女らしさの復活

何やら、きらびやかに、華やかに、

ドラマティックに、

バロック調、ルネッサンス風、

ファッションは今、

キラキラ、芝居っ気たっぷり、

そして、あてがわれるのではなく

思い思いにセレクトして自分の世界を創る。

日常感覚的なファンタジー、

スポーティブロマン、

昔風のロマンティシズムの概念ではなく、

カジュアルマインドで、

ロマンティックなのである。

又、テーマの異質なもの、

組合せの意外性のオモシロさ

カッコ良く、

新鮮、

昔風のルックにこだわらないで、

一度、トライしない？

春ですもの。

